



<緊急対策第2弾>

新型コロナウイルス感染症に伴う生駒市の取組 約2億2千万円を増額する一般会計補正予算案を提出

新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う対策として、市内事業者の事業継続のための支援金支給対象の拡大や、小中学校の給食費2か月無償化などを実施します。財源には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や保育対策総合支援事業費補助金等を活用します。

また、休業していた小中学校や幼稚園・こども園を6月1日(日)から再開します。

臨時市議会には、以下に掲載する市独自の取組の他、子育て世帯に対し1人1万円を支給する臨時特別給付金(事業費1億5,749万円)、小・中学校に衛生用品を購入(事業費800万円)、市立幼稚園・認定こども園・市立保育所・私立保育所に衛生用品を購入(事業費1,700万円)、住居確保給付金の対象範囲拡大(事業費270万円)といった国の事業をあわせた約2億2千万円を増額する一般会計補正予算案を提出します。

■補正予算

<一般会計>

- ・現計予算 490億1,558万6千円
- ・補正予算 2億2,054万9千円
- ・補正後予算 492億3,613万5千円

■市民の皆さまの暮らしに関すること

1 2か月分の給食費を無償化

- ・趣旨 保護者の経済的な負担を軽減し、安心して学校再開を迎えてもらうため、小中学校再開後2か月分の給食費を無償化します。
- ・対象 小学生約7,000人、中学生約3,200人
- ・事業費 9,316万3千円
- ・担当 学校給食センター(0743-73-3141)

2 児童扶養手当を受給する世帯に支援金

- ・趣旨 就業環境の変化など経済的に影響を受けやすいひとり親家庭等を支援するため、6

月下旬を目途に児童扶養手当を受給する世帯の対象児童1人につき1万円を支給します。

- ・対象 約900人
- ・事業費 956万6千円
- ・担当 こども課（0743-74-1111、内線771）

3 妊産婦や自宅待機者などの買い物を市職員が代行します

- ・趣旨 新型コロナウイルスにより自宅待機を余儀なくされた市民や妊産婦などを対象に、市職員が概ね1週間分の食料品や日用品などの生活必需品の買い物を代行するサービスを5月15日(金)から当分の間実施し、生活支援と感染拡大防止に努めます。
- ・対象 次のいずれかに該当し、親族や知人等による支援が受けられない生駒市在住者
 - ①妊娠36週以降（妊娠10か月）の妊婦及び産後3か月までの産婦
 - ②新型コロナウイルス感染者及び同居家族
 - ③PCR検査後の待機者と同居の家族
 - ④新型コロナウイルス感染に関して、医師から自宅待機を命じられた人
- ・代行内容 1週間に1回程度、1回あたり概ね3,000円程度の買い物（実費は依頼者が負担、代金は後日納付）
- ・方法 対象者のうち希望する人が随時、市に依頼（登録は不要）
 - ①…商品を直接受け渡す
 - ②～④…商品を玄関先に置き、職員への感染リスクを防ぐ
- ・担当 健康課（0743-75-2255）

4 集団資源回収補助金を増額します

- ・趣旨 新型コロナウイルスがアジア地域で蔓延したことによって資源ごみの輸出が制限され、有償で回収する業者が減少しています。資源ごみ回収費は自治会活動等の財源となっているため、今まで通り積極的にごみ分別に取り組んでもらえるよう資源ごみの回収補助金を6か月間増額します。
- ・対象 令和2年4月から9月までの6か月間に回収された資源ごみ
- ・補助額 1kgにつき4円→1kgにつき5円
- ・事業費 190万円
- ・担当 環境保全課（0743-74-1111、内線351）

■事業者の皆さまへの支援に関すること

1 市内事業者に10万円を支給する支援金の対象を拡大【別紙①参照】

2 市内のタクシー・福祉介護タクシーの感染症対策に補助

- ・趣旨 市内で、法人・個人タクシー、介護・福祉タクシー事業等を営む事業者が、セパレーターカーテンや消毒液設置などの感染症対策を実施した場合に、その経費の5分の4（1台あたり10,000円上限）を補助します。補助を受けた事業者には、対策済みのステッカーを配布して周知します。
- ・事業費 115万5千円
- ・担当 商工観光課（0743-74-1111、内線321）

3 事業者向け相談員を配置

- ・趣旨 行政機関や公的支援機関で相談経験のある中小企業診断士等を臨時で配置し、支援策の相談や事業再開の立ち上げ支援、再生事業計画支援などに応じます。新型コロナウイルス感染症により影響を受けている事業者を対象にした支援策は国や県・市といった行政だけでなく、公的支援機関や金融機関などから多くのメニューが発表されています。「どの支援策を使うことができるか」を知りたくても、相談電話や窓口は混雑しており、オーバーフロー状態になっているのが現状です。こういった支援策の相談をはじめ、新しい行動様式に合わせた営業再開のための支援、抜本的な経営計画の見直しの相談などに専門的に応じます。
※人数・利用方法等は決定次第、改めて発表します。
- ・事業費 813万4千円
- ・担当 商工観光課（0743-74-1111、内線321）

■子育て・教育に関すること

1 6月1日(月)から、隔日登校で小中学校を再開【別紙②参照】

ー準備期間として、5月20日(水)から登校日を設けますー

2 6月1日(月)から市立幼稚園とこども園が再開【別紙③参照】

ー準備期間として、5月25日(月)から準備登園期間を設けますー

3 オンライン教室の実現に向け、ポケットWi-fi等を整備

- ・趣旨 インターネット接続環境が整っていない家庭への支援を目的として、ポケットWi-fiを500台（小学校・中学校250台ずつ）購入します。併せて、学校と児童生徒が円滑にやりとりするために、学校側が使用するカメラやマイクなどの通信装置も整備します。

※PC等の機器がない児童生徒には、学校のパソコンも同時に貸し出します。

- ・台数根拠 端末・インターネット環境のアンケート結果（回答数8,813件／総数10,035件）

では、インターネット環境のない等の児童生徒が 388 人でした。未回答者の割合も考慮し、500 台を購入します。

- ・事業費 1,470 万円
- ・担当 教育総務課 (0743-74-1111、内線 621)

4 オンライン教室の実現に向けた取組が順調に進行

① オンラインで担任の先生やクラスメイトとコミュニケーション

Google 社のサービス「G Suite for Education」のオンラインビデオ会議機能を利用するため、各家庭での設定方法を保護者に通知し、ログインの確認をしています。5 月 13 日(水)から順次、準備が整った学校でホームルームを試行的に実施しています。

② 授業の動画を 5 月 7 日(木)から動画共有サイト「YouTube」で配信中

小学 1 年生～中学 3 年生の主教科を教科書の单元ごとに約 10 分の映像にまとめた動画を、5 月 13 日(水)現在で 107 本配信。順次、増やします。

③ 家庭学習支援ツールの運用が全校でスタート

「ラインズ e ライブラリアドバンス」(ラインズ社)を全校に導入し、5 月 8 日(金)までに保護者へ専用 ID とパスワードの配布が完了しました。子どもたちはインターネット配信される教材を各家庭のパソコンやタブレットで学習しています。

※上記全ての準備が整った学校を取材いただけます。

- ・日時 5 月 20 日(水) 13:30 から 15 分程度
- ・場所 生駒南第二小学校(生駒市小平尾町 927 番地)
- ・内容 生駒南第二小学校 5 年 1 組のホームルームや自宅学習などのオンライン教室の様子
(取材希望の場合は、準備がございましたので事前に教育指導課へご一報ください)
- ・担当 教育指導課 (0743-74-1111、内線 631)

■ 公共施設の感染拡大防止策に関すること

1 避難所に感染症対策として衛生用品や防災用備品を購入

- ・趣旨 避難所における感染症対策品として、サージカルマスクやハンドソープ、非接触式体温計といった衛生用品や避難者間の飛沫感染防止のためのワンタッチ式パーテーションを購入します。
- ・事業費 1,921 万 7 千円
- ・担当課 防災安全課 (0743-74-1111、内線 251)

■その他

1 コロナ対策に寄附を募ります

- ・趣 旨 4月28日(火)、ふるさと納税の使いみちに「コロナに立ち向かおうコース」を新設しました。経済的に困難な状況にある人や事業者の支援、福祉施設や保育園、消防といった暮らしを守るために働いている方々の環境支援、子どもたちの学びや育ちの支援など、さまざまな施策に活用するため、広報紙や市ホームページ、市民の皆さんに発送する郵送物などで広く寄附を呼びかけます。
- ・担 当 行政経営課 (0743-74-1111、内線 312)

2 市長 30%、副市長・教育長・水道事業管理者 20%の賞与をカット

- ・趣 旨 新型コロナウイルス対策の財源確保と、市民の皆さまに感染拡大防止のためのご理解やご協力を求めるにあたり、市長は30%、副市長・教育長・水道事業管理者は20%の6月支給の期末手当をそれぞれカットします。
- ・担 当 人事課 (0743-74-1111、内線 241)